

佐倉市スマートオフィスプレイスの設置及び管理に関する条例(案)に寄せられた意見と市の考え方について

(1) 意見募集結果

意見募集期間	平成30年10月16日～平成30年10月30日
意見募集結果	意見提出者1名、意見 3件
意見に対する対応	意見を参考に案を修正したもの 0件 原案のとおりとしたもの 3件

(2) 意見の内容と市の考え方

No.	提出された意見の内容	意見に対する考え方	案の修正の有無
1	<p>1. これを設置する目的は、現実にはサテライトオフィスのようなものを必要にしている人に4年間スペースを提供することなのか。</p> <p>2. それともこれから起業をしようとする人に作業しやすいスペースを4年間提供することなのか。</p>	<p>本施設につきましては、頂いたご意見1,2の機能両方を併せ持つ施設として設置するものです。</p>	無
2	<p>3-1. もし上記1のケースであるならば、過去何回か予算を投じて行われてきたチャレンジショップの総括をお聞きしたい。小生の知る限り成功例はほとんどなく、多くの空き店舗は駐車場になってしまったか、一般住宅になってしまった。今回の試みも中央政府の思い付きのような政策にのったようにしか見えないが、チャレンジショップのようにならない保証はあるのか。</p> <p>3-2. 今佐倉市は空家バンクを制定し、空家の地域社会での活用を何とか見つけ出そうとしている。現在サテライトオフィ</p>	<p>チャレンジショップへの支援につきましては、経営が軌道に乗り、現在も営業中の店舗もあるなど、一定の効果もあったものと考えております。</p> <p>本施設については、「働き方改革」の流れを受け、情報通信白書では「テレワーク導入可能な企業は約2割（従業員300人以下）」とされていることなどから、テレワーク等の新たな働き方に対応するものとして考えています。</p> <p>また、創業支援施設としては、主に創業者のスタートアップ時の支援を想定しており、その後、数名規模に拡大する場合等に、ご指摘の、空き店舗等の活用を促す</p>	無

	<p>スのようなスペースを探している人が、ユーカリが丘の1か所にこいというのでは利便性からみて利用者のことを考慮していないと言える。それよりも複数の地区に空家があるのであれば、そうしたところを利用できるようにしたほうがより良いのではないだろうか。</p>	<p>などの仕組みづくりを考えています。</p>	
3	<p>4. 上記2の場合、起業しようとする人は一般的に金がないのだからただスペースがあるだけでは何もできない。彼又は彼女が考案したアイデアや商品のプロトタイプをきちんと評価してもらえるプラットフォームがないとそれから先進むことが難しい。このスペースは具体的な内容がないのでそうしたプラットフォームを形成できるのかどうか判断できない。こうした起業しようと考えている彼・彼女らにとってはバラバラに考えるよりは異業種的なブレインストーミングのような場を提供するのがよい。</p> <p>4-2. 今回のスペースはそうしたことに対応できるものなのだろうか。</p>	<p>本施設における創業希望者に対しては、佐倉商工会議所、千葉県よろず支援拠点などの支援機関に設置されている創業相談窓口と適切に連携し、必要なフォローアップに取り組むほか、市と商工会議所で実施している起業塾への参加を促し、ビジネスプランの相談に乗るほか、異業種の参加者同士が交流し、繋がる機会を提供してまいります。</p> <p>本施設は基本的にオープンスペースであることから、多様な業種の事業者同士で交流が生まれることを期待しており、交流が進む仕組みを検討してまいります。</p>	無